

Git with VScodeの設定手順

git for windowsのインストール

- Use a TrueType font in all console windows にはチェックを入れない。日本語などの多バイト文字が文字化けする可能性あり。
- Use Git from the Windows Command Prompt」を選択。Git BashだけじゃなくコマンドプロンプトやパワースhellからもGitが使える。

gitの初期設定

```
$ git config --global user.name 'username'
$ git config --global user.email 'username@example.com'
$ git config --global core.editor 'code --wait'
$ git config --global merge.tool 'code --wait "$MERGED"'
$ git config --global push.default simple
```

Visualstudio Code (VS Code)のインストールと設定

- [君には1時間でGitについて知ってもらおう](#) → VScodeによるCommitの操作が分かりやすい。ただしgithubじゃない。
- [GitHubとVSCODEの連携方法](#)

VScodeの設定

markdown

markdown all in oneをとりあえず入れてみた。

markdown Preview Enhanced (pdf出力)

Markdown Preview enhanced拡張をインストールして、プレビュー画面の右上（Chrome(Poppeteer)からpdfを出力できる。拡張をインストールする前に、Chromeをあらかじめインストールしておく。これだと数式もちゃんと表示できる。

markdown Preview Enhancedの設定（コードチャンクのcss）

- コード出力のcssが選べる。vs.cssがよさそう。（visualstudio風？）

git関係

- Git Graphがよさそうかな。

githubの設定

1. githubにアカウントをつくる
2. githubでリポジトリを作る
3. ローカルPCにリポジトリ用のフォルダを作る。
4. そのフォルダにいて、git bashからgit cloneして、githubに作ったリポジトリをもってくる。
5. VScodeでそのフォルダを開く。
6. VScodeのファイル> 名前を付けてワークスペースを保存をしておくともよさそう。
7. 拡張子.code-workspaceは.gitignoreに登録したほうがよいかも。

- [GitとGithubの基本知識](#)
- [SourceTreeとGithubでGitの練習環境をつくる](#)